

## 寄贈図書リスト

平賀源内に学ぶ イノベーターになる方法, 出川  
通, 四六判, 208頁, 1,500+税, 言視舎  
オリオン座はすでに消えている?, 縣 秀彦, 新書

判, 226頁, 756円, 小学館  
どうして宇宙酔いは起きる?, 森 滋夫, 四六判,  
264頁, 3,150円, 恒星社厚生閣  
人類の夢を育む天体「月」, 長谷部信行・桜井邦朋,  
A5判, 256頁, 2,940円, 恒星社厚生閣

## 月報だより

月報だよりの原稿は毎月20日締切, 翌月に発行の「天文月報」に掲載いたします。校正をお願いしておりますので, 締切日よりなるべく早めにお申込みください。

e-mailで [toukou@geppou.asj.or.jp](mailto:toukou@geppou.asj.or.jp) 宛。

なお, 原稿も必ず Faxで 0422-31-5487 までお送りください。

## 人事公募

標準書式: なるべく, 以下の項目に従ってご投稿ください。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員 (ポスト・人数など), 2. (1) 所属部門・所属講座, (2) 勤務地, 3. 専門分野, 4. 職務内容・担当科目, 5. (1) 着任時期, (2) 任期, 6. 応募資格, 7. 提出書類, 8. 応募締切・受付期間, 9. (1) 提出先, (2) 問合せ先, 10. 応募上の注意, 11. その他 (待遇など)

## 国立天文台ハワイ観測所 助教 (国際公募)

1. 助教1名
2. (1) 国立天文台ハワイ観測所  
(2) アメリカ合衆国ハワイ州ヒロ
3. 天文学および関連分野
4. 国立天文台ハワイ観測所では, すばる望遠鏡による共同利用観測を推進すると同時に, 次期大型計画であるTMTプロジェクトを支援してきています。すばる望遠鏡を今後とも世界第一線の望遠鏡として安定, 且つ, 安全に共同利用に供すると共に, TMT時代へ向けたすばる望遠鏡の科学運用のあり方を見直すための中心的役割を果たしつつ, 科学的成果をあげていくことのできる助教を求めます。具体的な職務および必要な能力の詳細については, 下記を参照してください。  
[http://www.naoj.org/Announce/2013/01/16/j\\_index.html#1](http://www.naoj.org/Announce/2013/01/16/j_index.html#1)
5. (1) 採用決定後できるだけ早い時期  
(2) なし (5年目に助教としての再審査を行い, 他の適切な職務に異動させることがあります)
6. 大学院博士課程修了, またはそれと同等以上の方

7. (1) 履歴書, (2) 論文リスト, (3) 研究業績 (これまでの天文学研究の業績のほかに, 観測装置や望遠鏡に関する研究・開発の業績を具体的に記入してください), (4) 研究計画書 (個人で行う研究の計画に加え, すばる望遠鏡の科学運用やそのあり方を見直す中心的役割を果たすにあたっての抱負・方針を具体的に記入してください), (5) 本人について意見を述べられる方3名の氏名と連絡先, (6) e-mailアドレス
8. 2013年2月28日 (木) 必着
9. (1) 応募書類, 推薦書 (もし, あれば) とも [appl\\_hawaii\\_assis20130228@nao.ac.jp](mailto:appl_hawaii_assis20130228@nao.ac.jp) へメール添付で送付  
(2) 国立天文台ハワイ観測所長 有本信雄  
Subaru Telescope, 650 North A'ohoku Place,  
Hilo, HI 96720, U.S.A.  
e-mail: [arimoto@naoj.org](mailto:arimoto@naoj.org)
10. ・すべての応募書類 (上記7.の(1)~(6)) はそれぞれPDFファイルに変換し, メールに添付すること。ただし, 各書類をまとめて一つのPDFファイルにしたり, また, ZIPファイルに入れたり圧縮したりしないこと。  
・PDFは解像度に注意し, あまり容量が大きくなりすぎないようにすること (10 MB程度まで)。  
・応募書類が受理されると確認のメールを送るので, それが届かない場合には, [appl\\_hawaii\\_assis20130228@nao.ac.jp](mailto:appl_hawaii_assis20130228@nao.ac.jp) へお問合せください。
11. 選考は国立天文台運営会議で行います。国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し, 男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めています。詳しくは <http://jouhoukoukai.nao.ac.jp/danjokyodo/> をご覧ください。

東京大学大学院理学系研究科天文学専攻教員

1. 助教1名
2. (1) 大学院理学系研究科天文学専攻  
(2) 東京都文京区本郷7-3-1
3. 天文学
4. 天文学専攻には、観測的宇宙論、高エネルギー天文学、超新星、太陽恒星物理、星間物理、系外惑星科学の研究グループ(理論及び観測)があります(詳しくは、<http://www.astron.s.u-tokyo.ac.jp> をご覧ください)。これらのグループ及び理学系研究科附属天文学教育研究センターのグループとも協調しながら、大学院及び学部教育に熱意をもって取り組み、観測・理論の双方を視野に入れて、世界第一線の研究をリードできる方を求めます。
5. (1) 採用決定後なるべく早い時期  
(2) 5年、再任不可
6. 大学院博士課程修了、またはそれと同等以上の方
7. (1) 略歴書(写真貼付)、(2) 研究歴(これまでの研究内容の概要)、(3) 研究論文リスト、(4) 主要論文別刷(3編以内)、(5) 着任後の研究計画と抱負、(6) 推薦状2通
8. 2013年3月1日(金) 必着
9. (1) 〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1  
東京大学大学院理学系研究科天文学専攻  
専攻長 柴橋博資  
(2) 同上  
Tel: 03-5841-4256 Fax: 03-5841-7644  
e-mail: shibahashi@astron.s.u-tokyo.ac.jp
10. 封筒の表に「人事応募書類」と朱書し、直接持参するか、簡易書留で郵送して下さい。
11. 本研究科では、男女共同参画を積極的に推進しています。詳しくは下記URLの理学系研究科男女共同参画基本計画をご覧ください。 <http://www.s.u-tokyo.ac.jp/gai/sankaku/kihonkeikaku.html>

人事公募結果

1. 掲載号
2. 結果(前所属)
3. 着任時期

東京大学大学院理学系研究科天文学専攻教員

1. 2012年2月号(第105巻第2号)
2. 戸谷友則(京都大学大学院理学研究科准教授)
3. 2013年2月16日

東北大学大学院理学研究科天文学専攻教員

1. 2012年8月(第105巻第8号)
2. 大向一行(京都大学大学院理学研究科准教授)
3. 2013年4月1日

研究会・集会案内

2013年度精密工学会春季大会

“International Symposium on Application of Precision Engineering to Support Next Generation Astronomical Telescopes”

主 催: 精密工学会  
 企 画: 中部大学生産技術開発センター  
 協 賛: 宇宙航空研究開発機構, 日本天文学会  
 開催日時: 平成25年3月14日(木) 午前9時20分より  
 会 場: 東京工業大学大岡山キャンパス西5号館2階 W521講義室(東京都目黒区大岡山2-12-1)  
 使用言語: 英語  
 参加費: 無料  
 参加申込: <http://production.isc.chubu.ac.jp/cgi-bin/regist.cgi> より登録をお願いします。

プログラム:

1. 9:20~9:30 “Introduction”  
名古屋大学 山下廣順氏
2. 9:30~10:10 “Status of ASTRO-H Project”  
宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所  
高橋忠幸氏
3. 10:10~10:50 “Next-Generation Extremely Large Telescopes with Segmented Off-Axis Mirrors”  
英国 ジーコ社  
Richard FREEMAN氏
4. 10:50~11:20 “Status of Wide Field X-Ray Telescope (WFXT)”  
伊国 プレラ天文台  
Giovanni PARESCHI氏
5. 11:20~11:30 休 憩
6. 11:30~12:00 “Evolution of Stitching System for Sub-Aperture Interferometric Data Derived from On-Machine Measurement of Large Format Optics”  
英国 ロンドン大学(UCL)  
Christopher W. KING氏
7. 12:00~12:30 “Precision Free Form Measurement

and New Technology of UA3P”  
パナソニック  
プロダクションテクノロジー(株)  
久保圭司氏

12:30~13:30 昼食休憩

7. 13:30~14:00 “Quick Shape Measurement of  
Large Off-Axis Mirrors by  
Computer Generated Hologram”  
京都大学大学院理学研究科  
木野 勝氏

8. 14:00~14:30 “Advanced Ion Beam Finishing  
Technology for High End  
Optics”  
独国 NTG Neue Technologien 社  
Axel SCHINDLER氏

9. 14:30~15:00 “Corrective Finishing Processes  
for X-Ray Telescopes after  
ASTRO-H”  
中部大学生産技術開発センター  
Anthony BEAUCAMP氏

10. 15:00~15:05 “Closing Remarks”  
中部大学生産技術開発センター  
難波義治氏

15:10~16:10 名刺交換会（日本語を含め、お  
好きな言語で交流を深めてくだ  
さい。）

補足の情報：当日の午後4時30分より、同キャンパ  
ス内、西9号館2階デジタル多目的  
ホールで、東京工業大学地球惑星科学専  
攻の井田 茂教授による「銀河系に充満  
する地球型惑星、そして系外生命の可能  
性」と題する特別講演が企画されていま  
す。こちらの行事は参加費・参加登録は  
不要です。

## 光害シンポジウム「夜空の明るさを考える」

### 開催のご案内

近年、夜空の明るさについて調査し、考える取り組  
みが全国の高校生を中心として広がりをみせています。  
また、日本の夜空の現状を継続的に見つけてきた「全  
国星空継続観察」も25年という節目の年を迎え、これ  
までの成果を振り返る時期でもあります。さらに、昨  
今のエネルギー事情から、夜間照明の効率利用につい  
て考え直そうという社会的機運も高まっています。

私たちは星空の本来の美しさを取り戻し、人と星空  
とのかわり方を考えるきっかけとなることをめざし

て「光害シンポジウム」を開催する実行委員会を立ち  
上げました。今回のシンポジウムでは、光害、特に夜  
空の明るさに関する全国各地の取り組みや研究成果を  
互いに知り、日本の夜空の現状について理解を深めあ  
うことを目的とします。このシンポジウムを通じて、  
世界天文年2009を契機とした光害の啓発活動の活性  
化につなげたいと考えています。ご興味をおもちの方  
はぜひご参加ください。

### 開催概要

日 時：2013年3月24日(日) 14:00~19:00

場 所：大宮ソニックシティ（埼玉県さいたま市・  
JR大宮駅下車徒歩3分）会議室604（6階）

主 催：光害シンポジウム実行委員会

後 援：日本天文協議会、Astro-HS

対 象：光害に関心をもつ個人・団体

参加費：無料

ウェブサイト：<http://sympo2013.darksky.jp/>

2月中旬よりウェブサイトにて参加申  
込開始予定です。

お問合せ先メールアドレス：[sympo2013@darksky.jp](mailto:sympo2013@darksky.jp)

### 【参考】

実行委員：内田重美、大川拓也、大友 哲、  
越智信彰、小野間史樹、佐藤幹哉、柴山万優子、  
塚田 健、長澤祐佳、原田泰典、八杉美晴

### 【日本天文学会理事会議事録】

日 時：2012年10月28日(日) 13:00~14:00

場 所：東京大学理学部4号館 1116号室

出席理事：岡村、杉山、河合、本原、竹田、松尾、  
茂山、吉川、梅村（以上9名）

欠席理事：田代、柏川、幸村、山田、太田、仲野  
（以上6名）

また、西野事務長が出席した。

### I. 確認事項など

I-1 議事に先立ち、出席者と書面表決状をあわせ  
て15名で定足数を満たし、本会が成立する  
ことが確認された。また、以下のとおり議長  
と署名人の確認がなされた。

議 長：岡村定矩

署名人：松尾 宏、本原顕太郎

### II. 報告

II-1 臨時理事会開催経緯について（杉山）

杉山副理事長より臨時で理事会を開催するこ  
とになった経緯が説明された。公益法人移行

時の会計年度は12カ月以内でないといけな  
いことが内閣府より指摘されたため、まずは  
移行直後の3カ月分の事業計画書、および予  
算書を承認することが必要である。また、12  
月中に公益法人移行認定がなされない場合に  
備え、旧法人（特例社団法人）の2013年度  
事業計画書、および予算書もただし書き付き  
で承認しておく必要もある。さらにこれを機  
に、定款の修正を行うこととした。

### III. 議題

- III-1 公益社団法人平成24年度事業計画書案の承認（資料1, 本原）  
全会一致で承認された。
- III-2 公益社団法人平成24年度予算書案の承認（資料2, 松尾）  
松尾会計理事より、公益社団法人としての2012年度予算案の説明がなされた。団体会員の会費収入は2012年度は免除するという細則にあわせ、ゼロとしている。また、早川基金などの助成事業は内閣府の指示により指定正味財産に移した。  
以上の説明の後、全会一致で承認された。
- III-3 特例社団法人平成25年度事業計画書案の承認（資料3, 本原）  
全会一致で承認された。
- III-4 特例社団法人平成25年度予算書案の承認（資料4, 松尾）  
全会一致で承認された。
- III-5 公益法人日本天文学会定款の修正案の承認（資料5, 12, 杉山）  
全会一致で承認された。
- III-6 会費に関する細則の変更案の承認  
全会一致で承認された。
- III-7 代議員選挙施行細則の変更案の承認  
全会一致で承認された。
- III-8 会長・副会長・理事・監事選考細則の変更案の承認  
全会一致で承認された。
- III-9 日本天文学会委員会等に関する細則の変更案の承認  
全会一致で承認された。
- III-10 新理事会の理事・監事の承認  
全会一致で承認された。
- III-11 細則および内規の変更に関する共通内規の変更案の承認  
全会一致で承認された。

### [資料リスト]

- 資料1 公益社団法人平成24年度事業計画書案
- 資料2 公益社団法人平成24年度予算書案
- 資料3 特例社団法人平成25年度事業計画書案
- 資料4 特例社団法人平成25年度予算書案
- 資料5 公益法人日本天文学会定款の修正案
- 資料6 会費に関する細則の変更案
- 資料7 代議員選挙施行細則の変更案
- 資料8 会長・副会長・理事・監事選考細則の変更案
- 資料9 日本天文学会委員会等に関する細則の変更案
- 資料10 公益社団法人日本天文学会2012年度役員候補者
- 資料11 細則および内規の変更に関する共通内規の変更案
- 資料12 社団法人日本天文学会新定款修正箇所
- 資料13 細則の主な変更点

2012年11月19日

議 長：岡村定矩 印  
署名人：松尾 宏 印  
署名人：本原顕太郎 印

### 【日本天文学会評議員会議事録】

日 時：2012年10月28日(日) 15:00~16:00  
場 所：東京大学理学部4号館 1116号室  
出席評議員：伊藤，岡村，海部，牧島，井上，渡部，杉山，林（隆之）（以上8名）  
欠席評議員：劉，奥村，須藤，嶺重，家，池内，市川，犬塚，佐藤，柴田，林（正彦），観山（以上12名）  
事前に、劉，奥村，須藤，嶺重，家，池内，市川，犬塚，佐藤，柴田，林（正彦），観山評議員からは書面表決状が提出されている。

その他、河合副理事長，本原・竹田庶務理事，松尾会計理事，西野事務長が出席した。なお、岡村理事長と杉山副理事長は評議員を兼任している。

#### I. 確認事項など

- I-1 議事に先立ち、出席者と書面表決状をあわせて20名で定足数を満たし、本会が成立することが確認された。また議長と署名人が以下のとおり選出された。  
議 長：井上 一  
署名人：岡村定矩，牧島一夫

#### II. 報告

- II-1 臨時理事会開催経緯について（杉山）

杉山副理事長より臨時で理事会を開催することになった経緯が説明された。公益法人移行時の会計年度は12カ月以内でないといけないことが内閣府より指摘されたため、まずは移行直後の3カ月分の事業計画書、および予算書を承認することが必要である。また、12月中に公益法人移行認定がなされない場合に備え、旧法人（特例社団法人）の2013年度事業計画書、および予算書もただし書き付きで承認しておく必要もある。さらにこれを機に、定款の修正を行うこととした。

### III. 議題

- III-1 公益社団法人平成24年度事業計画書案の承認（資料1, 本原）  
全会一致で承認された。
- III-2 公益社団法人平成24年度予算書案の承認（資料2, 松尾）  
全会一致で承認された。
- III-3 特例社団法人平成25年度事業計画書案の承認（資料3, 本原）  
全会一致で承認された。
- III-4 特例社団法人平成25年度予算書案の承認（資料4, 松尾）  
全会一致で承認された。
- III-5 公益法人日本天文学会定款の修正案の承認（資料5, 12, 杉山）  
全会一致で承認された。
- III-6 会費に関する細則の変更案の承認  
全会一致で承認された。
- III-7 代議員選挙施行細則の変更案の承認  
全会一致で承認された。
- III-8 会長・副会長・理事・監事選考細則の変更案の承認  
最初の会長は3カ月で任期が来るが、その再選の時には選挙は行わないという附則を付ける必要があることが指摘され、新法人移行直後の理事会において、その修正を行うべきであるとの意見が出された。以上の議論の後、全会一致で承認された。
- III-9 日本天文学会委員会等に関する細則の変更案の承認  
全会一致で承認された。
- III-10 新理事会の理事・監事の承認  
全会一致で承認された。
- III-11 細則および内規の変更に関する共通内規の変更案の承認  
全会一致で承認された。

III-12 また、上記議題1から10までを総会の議案とすることも併せて確認された。

#### [資料リスト]

- 資料1 公益社団法人平成24年度事業計画書案  
資料2 公益社団法人平成24年度予算書案  
資料3 特例社団法人平成25年度事業計画書案  
資料4 特例社団法人平成25年度予算書案  
資料5 公益法人日本天文学会定款の修正案  
資料6 会費に関する細則の変更案  
資料7 代議員選挙施行細則の変更案  
資料8 会長・副会長・理事・監事選考細則の変更案  
資料9 日本天文学会委員会等に関する細則の変更案  
資料10 公益社団法人日本天文学会2012年度役員候補者  
資料11 細則および内規の変更に関する共通内規の変更案  
資料12 社団法人日本天文学会新定款修正箇所  
資料13 細則の主な変更点

2012年10月28日

議長：井上 一 印  
署名人：岡村定矩 印  
署名人：牧島一夫 印

### 計 報

藤田良雄氏（元 理事長）が2013年1月9日に心不全のためご逝去されました（享年104歳）。  
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

西 恵三氏は2013年1月22日（火）に御逝去されました（享年87歳）。  
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

### 編集委員会より

#### ご挨拶

天文月報は天文学会員の研究活動を交流する重要なメディアです。会員も多くなり、活動も多彩になる中、その役割はますます大きくなっています。これからもその役割を発揮できるよう、努力していきたいと思えます。積極的な投稿をお願いします。

天文月報編集長 青木和光（国立天文台）

もう二年間よろしくお祈りします。皆様に迷惑をお掛けしないよう、締切りを守って編集作業に努めたい

と思います。「ソフトウェア紹介シリーズ」の記事、お待ちしております。よろしくお祈いします。

市來淨與 (名古屋大学)

このたび編集委員を拝命しました大栗です、よろしくお祈いします。天文月報の記事は天文学の幅広い分野の動向をフォローするうえでたいへん参考になりましたし、私の記事も何度か載せていただいたこともありますので、恩返しの意味も含めて微力ながら誌面の充実に貢献できればと思います。

大栗真宗 (東京大学カブリ数物連携宇宙研究機構)

2期目に突入しました。月報委員になるまでは、他分野の記事をあまり読まないほうだったのですが、委員になり校正のため記事を精読させてもらうと、勉強になることも多いなと感じています。2期目には特集を提案するなどして貢献度を上げたい所存です。

勝川行雄 (国立天文台太陽天体プラズマ研究部)

新しく編集委員になりました町田です。学生時代は、天文月報を読んで天文学のさまざまな分野について学んだのですが、最近には時間に追われあまり読むことがなくなってしまいました。この機会にまた詳細に月報を読んで良い紙面づくりに貢献していきたいと思っています。よろしくお祈いします。

町田正博 (九州大学)

新しく編集委員を務めさせていただくことになりました富永です。執筆者・読者の皆様の懸け橋としてよりよい天文月報をお届けできるよう頑張ります。

富永 望 (甲南大学)

新しく天文月報編集委員となりました平松です。私の専門分野である電波天文学や広報担当を務めている

アルマ望遠鏡のことはもちろん、さまざまな分野の面白い話題を集めて紹介していきたいと思っています。記事投稿やアイデアもお待ちしております。よろしくお祈いします。

平松正顕 (国立天文台 ALMA 推進室)

引き続き委員を務めさせていただきます。所属は「水沢 VLBI 観測所」ですが、三鷹に勤務しています。2年前のご挨拶では「(何事にも) 締め切り前に余裕をもって!」という目標を書きましたが、それと合わせて、今度は「自他ともに記事をたくさん書く(書いていただく)」ということも目指していきたいと思っています。よろしくお祈いします。

廣田朋也 (国立天文台)

青山学院大学の馬場です。育休復帰より早く月報でお世話になることになりました。幅広い記事を発信していけたらと思っています。よろしくお祈いいたします。

馬場 彩 (青山学院大学理工学部)

引き続き、委員を務めさせていただくことになりました。残りの任期でもっと原稿集めや新しい企画の提案などを頑張っていきます。

前野将太 (美星天文台)

このたび編集委員に加えていただきました吉田二美です。これまでは一読者として、天文月報は最先端研究と一般読者をつなぐとても良いツールだと感じてきました。今後は一編集委員として、最新の研究成果のみならず天文学研究者の日頃の研究活動のクールな面や苦労話が伝わってくるような、多くの読者に親しみをもって頂ける紙面にするよう努力したいと思います。

吉田二美 (国立天文台)

天文月報オンライン/投稿用アップローダーのIDとパスワード

ID: asj 2005

パスワード: 雑誌コード (5桁の数字と) **vol98** (5文字) の計10文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○—▲」の○○○○○の部分です。○○○○○は各号共通の数字です。

青木和光(編集長), 市來淨與, 大栗真宗, 勝川行雄, 富永 望, 平松正顕, 廣田朋也, 馬場 彩, 前野将太, 町田正博, 吉田二美

平成25年2月20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会

印刷発行 印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-8-8 株式会社 国際文献社

定価700円(本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359 (事務所) / 0422-31-5488 (月報) Fax: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595

日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: [toukou@geppou.asj.or.jp](mailto:toukou@geppou.asj.or.jp)

会費には天文月報購読料が含まれます。

©社団法人日本天文学会2013年(本誌掲載記事は無断転載を禁じます)